



くじ市 少年センター だより

～つながりの中で子どもを見守る～

久慈市川崎町1-1 社会福祉課 ☎0194-52-2111

令和8年 9月号

＜発行・編集＞
久慈市少年センター

通算 **416** 号



☞ 久慈市ホームページでご覧頂けます

久慈市少年センター ホームページ ☞



補導活動は☑スマホで簡単入力！☞



♡「地域の子どもの育てる愛の一声運動」ありがとうございました♡

7月24日・8月21日の「べっぴん夜市」、8月6日～8日の「ヤマセあきんど祭り」の会場周辺で、「地域の子どもの育てる愛の一声運動」を実施しました。

当日は、少年補導委員の皆さんとお揃いの「見守り中」キャップを着用し、「こんにちは！お祭り楽しんでね。」「暑いね。水分補給を忘れずにね。」「暗くなってきたから、気をつけて帰ろうね。」など、子どもたち一人ひとりに温かな声をかけながら巡回しました。おかげさまで期間中、大きな問題行動や補導事案はなく、多くの子どもたちが笑顔で応えてくれました。

私たちは、「地域には自分たちを見守ってくれる大人がいる」という安心感こそが、非行や犯罪被害を未然に防ぐ第一歩になると考えています。

-- 地域の皆さまへ --

登下校や買い物、お散歩などの日常の中で、「おはよう」「こんにちは」「気をつけて帰ってね」そんな一言が、子どもたちの安心につながります。

久慈市少年センターは、これからも地域の皆さまとともに、子どもたちが安全・安心に暮らせるまちづくりを進めてまいります。これからも皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



☀ 今月のポイント

＊＊ 夏休み明けは子どもの小さな変化を見逃さないで＊＊

長い夏休みが終わり、新学期が始まる9月は、生活環境や人間関係が変化しやすい時期です。

元気がない あいさつが少ない 一人でいることが増えた・・・

そんな「いつもと違う様子」が見られたら、ぜひ温かい声をかけてください。

地域の大人の何気ない一言が、子どもたちの心の支えになります。

👁 巡回時のポイント

その一声が、子どもの安心につながる。

- ✓ 一人で長時間過ごしている子どもはいませんか
 - ✓ 暗くなっても帰宅していない子どもはいませんか
 - ✓ 公園や商業施設で危険な遊びをしていませんか
 - ✓ スマートフォンに夢中で周囲が見えていない子はいませんか
- といった点に気を配り声かけしましょう。

🗣 声かけの例

- ☺ 「こんにちは！学校始まったね！」
- ☺ 「暑いから水分をとってね。」
- ☺ 「部活頑張ってる？」
- ☺ 「暗くなる前に帰ろうね。」



🍀 街頭補導巡回活動報告

令和8年「地域の子どもを育てる愛の一声」の活動での少年補導委員さんとの合同巡回をご報告します。

今年の「愛の一声運動」では、多くの少年補導委員さんにご参加いただき、延べ5日間にわたり、計14時間の活動を行いました。イベント会場やその周辺で、延べ1,000人を超える子どもたちに声をかけられました。

「こんにちは!」「楽しんでね!」「気をつけてね!」そんな一言一言を大切にしながら、子どもたちを見守りました。

そして、今回の活動では、もう一つお願いをしました。

「高校生の皆さんは小中学生を、中学生の皆さんは小学生を、ぜひ気にかけて見守ってください。」

そう声をかけると、「分かりました。任せてください。」

と答えてくれた子どもたちがいました。その言葉を聞いたとき、私たちはとても心強く、頼もしく感じました。

「見守る人」は、大人だけではありません。少し先を歩くお兄さん、お姉さんが、下級生を気にかける。

そして、その姿を見た小さな子どもたちがいつか誰かを見守る。そんな『思いやりのバトン』が地域の中で繋がっていけば、久慈のまちはもっと温くなるのではないのでしょうか。



イベントでの「愛の一声」をきっかけに、子どもたち自身にも地域の一員としての意識を持ってもらえたら——。久慈市少年センターはそう願いながら、地域の皆さんと一緒に、子どもたちへの声かけと見守りを続けていきます。

🌿 岩手県少年センター連絡協議会事務連絡会議に参加しました

7月15日、宮古市で「岩手県少年センター連絡協議会事務連絡会議」及び「職員研修会」が開催されました。

- 会議では、
- ・子どもへの「声かけ」の工夫
 - ・見守り活動の見える化
 - ・啓発事業の充実
 - ・熊対策を含めた巡回環境の整備
 - ・青森県警察「JUMPチーム」の視察研修

などについて情報共有が行われました。

職員研修では、宮古地区保護司会の佐々木重光保護司による「いのちの授業」が行われました。

「命とは、自分に与えられた時間であり、その時間をどう使うかが人生をつくる。」という言葉が特に印象に残りました。

久慈市少年センターでも、子どもたち一人ひとりとの関わりを大切にしながら、地域ぐるみで健全育成活動を進めてまいります。

🦋 令和8年度青少年を被害・非行から守る県民大会に参加しました

7月23日、盛岡市のキオクシアアリーナで開催の「令和8年度青少年被害・非行から守る県民大会」に参加しました。岩手県警察本部からは、非行件数が減少する一方、サイバー犯罪や重要犯罪が増加していること、特に中学生の被害

だいじょうぶ?



が増えていることについて、情報提供がありました。SNSを通じた犯罪や被害を防ぐためには、子どもたちが利用しているSNSを大人も知り、危険な誘いに気付く力を育てることが大切です。また、相談を受けた際には話を否定せず、「話してくれてありがとう。あなたは悪くない」と受け止めることの重要性も学びました。

講演では、SNSやオンラインゲームをきっかけに、子どもたちが犯罪や被害に巻き込まれる現状について学びました。

SNS時代だからこそ、地域の大人が子どもたちの身近な変化に気付き、「何かあったら相談できる」関係をつくるのが大切です。